



2025年5月12日

各 位

会 社 名 : シンデン・ハイテックス株式会社
代 表 者 名 : 代 表 取 締 役 社 長 鈴木 淳
(コード番号: 3131)
問 合 せ 先 : 常務取締役(管理本部管掌) 田村 祥
(フリーコール: 0800-5000-345)

中期経営目標の修正に関するお知らせ

当社グループは、2025年5月12日開催の取締役会において、2023年5月11日付「2023年3月期 決算短信」内で公表しました2026年3月期を最終年度とする中期経営計画を精査した結果、中期経営目標を下記のとおり修正することを決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社グループを取り巻く環境は、国内の産業構造の変化、景気・為替相場・需給動向の変動、国際的な通商政策を含む地政学的リスクの影響を受けやすい状況にあります。その結果、企業や事業の再編等、生き残りのための競争も激しい環境にあります。

当社グループは、2020年4月より「収益構造改革」と称し、かかる厳しい事業環境への耐性を高めるべく高利益率化を目指してまいりましたが、その改革は、コロナ禍によるサプライチェーンの混乱等によって道半ばにありました。

したがって、2024年3月期を開始年度とし2026年3月期を最終年度とする当中期経営期間を、前中期経営期間の総仕上げの期間と位置づけ、推進してきた「収益構造改革」の基本構造を踏襲しつつ、「市場・顧客戦略」「製品戦略」「経営基盤戦略」の各種戦略を有機的に運用することで、当初公表の「中期経営目標」の達成に努めてまいりました。

しかしながら、当中期経営期間の2年目にあたる2025年3月期の業績と、足元の事業環境を精査した結果、当初公表の「中期経営目標」の連結経常利益目標の達成は困難と判断し、以下のとおり修正することとしました。また、米国の関税政策の不確実性が、わが国経済やエレクトロニクス業界に及ぼす影響は依然不透明であり、現段階でそれらを織込める状況にはなく、引続き精査を進めてまいります。

なお、「中期経営方針」、「市場・顧客戦略」「製品戦略」「経営基盤戦略」そして、もう一つの中期経営目標である「継続的にROE10%以上を維持する。」に変更はありません。修正目標の達成のために全社一丸となり邁進してまいります。

2. 変更の内容

| 中期経営目標 | | 2026年3月期 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日) | 2027年3月期 (自 2026年4月1日 至 2027年3月31日) | 備考 |
|--------------------|-----|---|---|-------------------------------------|
| ① 連結経常利益 | 修正前 | 15億円 | — | 時期を1期スライドさせ 2027年3月期の達成を 目指す。 |
| | 修正後 | 12億円 | 15億円 | |
| ② ROE (自己資本利益率) | | 10%以上を継続 | 次期中期経営目標と して別途設定し、 2026年5月に公表 予定 | 変更なし。 2026年3月期に復帰見込 み。 |

【ご参考1】2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前年増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | |
|----------|--------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年3月期 | 46,200 | 5.6 | 1,600 | 14.2 | 1,200 | 29.1 | 800 | 24.5 |

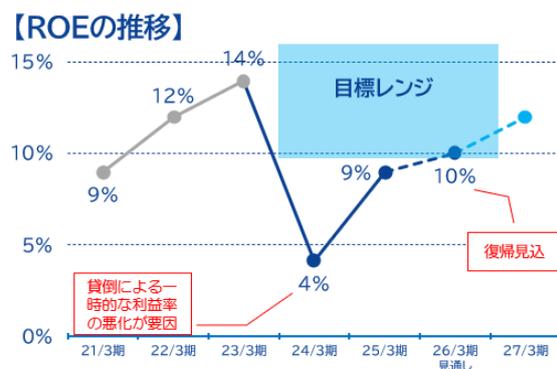
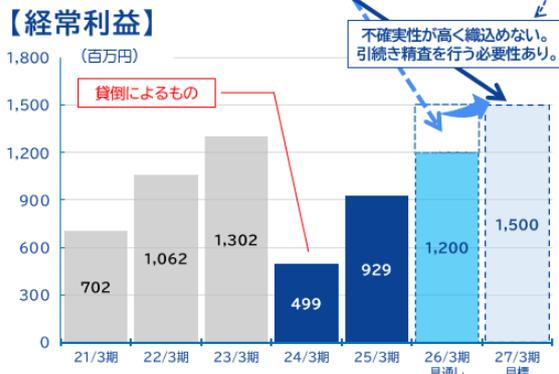
【ご参考2】2025年5月12日公表「2025年3月期（2024年度）決算説明資料」より抜粋

2. 中期経営目標(2026年3月期)



目標①を、翌期の2027年3月期へスライドさせる。 ← **変更あり**
 目標②は、2026年3月期に目標レンジに復帰見込み。

目標① 2026/3期 連結経常利益 **15億円** (1期スライド)
 2027/3期 **15億円**
 目標② ROE **10%以上**を継続する。
 (※)自己資本利益率
 $ROE = \text{当期純利益} \div \text{自己資本} \times 100$



以上